# 熱田小児科クリニック掲示板

## ３月のテーマ　『食物アレルギーについて』

(医)熱田小児科クリニック「ひまわり」スタッフ

食物アレルギーとは…食物アレルギーは、食べたり触ったり、吸い込んだりした食物に対して、体を守るはずの免疫のシステムが、過剰に反応して起きる有害な症状をいいます。

食物アレルギーのタイプについて

１、食物アレルギーが関与する乳児アトピー性皮膚炎

乳児のアトピー性皮膚炎には、食物アレルギーが原因になっていて、アレルゲン食品の除去によって、湿疹が軽快する場合があります。ただし、こうした場合でもしっかりスキンケアすることが大切です。

２、即時型食物アレルギー

原因となる食物を摂取して、2 時間以内に症状が現れます。体の様々な部位に、以下のような多彩な症状がみられます。これらの中でも特に注意すべき症状は☆印のついた「呼吸器の症状」「循環器の症状」「神経の症状」「消化器の症状」です。これらの症状が見られた場合、迅速な対応（エピペンの使用や救急車申請、輸送など）が必要になることもあります。

①皮膚の症状…かゆみ、蕁麻疹、赤み（紅斑）

②目の症状…結膜の充血、かゆみ、まぶたの腫れ

③口、のどの症状…口、のどの中の違和感、イガイガ感、唇、舌の腫れ

④鼻の症状…くしゃみ、鼻汁、鼻づまり

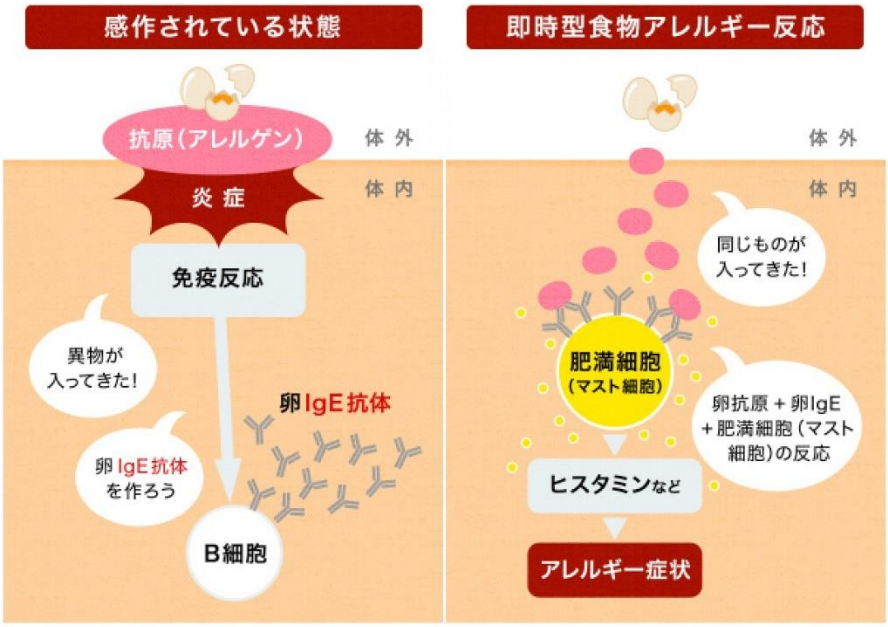
⑤呼吸器の症状☆…声がかすれる、犬が吠えるような咳、のどがしめつけられる感じ、咳、息が苦しい（呼吸困難）、ゼーゼー、ヒューヒューする（喘息）、低酸素血症

⑥消化器の症状☆…腹痛、吐き気、嘔吐、下痢

⑦循環器の症状☆…脈が速い（頻脈）、脈が触れにくい、脈が不規則、手足が冷たい、唇や爪が青白い（チアノーゼ）、血圧低下

⑧神経の症状☆…元気がない、ぐったり、意識がもうろう、不機嫌、尿や便を漏らす（失禁）

３、口腔アレルギー症候群

その人にとって果物、野菜の新たなアレルゲンとなったタンパク質を含む食品を加熱せず生に近い状態で食べた時に、口の中でピリピリしたり、耳の奥のほうが

かゆくなったり痛くなったりする、過敏症状が起こるようになります。これが「口腔アレルギー症候群」です。このアレルゲンは消化酵素に弱いため、胃で消化されてしまいます。基本的に、大量に摂取するなどの場合を除けば、強い症状の原因にはなりにくいと考えられます。花粉症と関連します。